

第41回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会・第54回全国道場少年剣道大会

どちらも日頃の練習の成果を十分に発揮し、大健闘しました!

第54回
全国道場少年剣道大会
(東京都 日本武道館)
[7月29日]

「先生に教わった技を活かし、1勝でも多く勝ちます」

横田剣道スポーツ少年団

(2列目左から) 高野悠真さん、服部航平さん
(1列目左から) 糸原煌士郎さん、福田一朗さん
(1列目右) 石倉優吾さん



第41回
全国スポーツ少年団ホッケー交流会
(栃木県 日光市ホッケー場)
[7月27日~7月29日]

「島根県代表として、諦めず、自分たちらしく戦います」

横田小ホッケースポーツ少年団

(2列目左から) 野村奏太さん、上田龍太郎さん、白根颯依さん、加納天聖さん
(1列目左から) 糸原陽さん、伊藤蓮さん、中野蒼大さん、吾郷南斗さん、安部凜飛さん

夏だ! スポーツ大会・コンクールが目白押し!!

第4365回全国高等学校演劇大会(佐賀大会)
2019さが総文 演劇部門

第65回全国高等学校演劇大会が、7月27日から29日にかけて佐賀県鳥栖市で開催され、横田高校演劇・放送部が出場し、優良賞を獲得しました。「雨はワタシの背中を押す」は、昨年7月の西日本豪雨をテーマにしたオリジナル作品で、困難な中でも前向きに自分の生き方を考える成長の物語です。審査員の方からは、「観客に思考される事に成功した作品でした」と好評を得ました。



▲優良賞を獲得した演劇・放送部のみなさん
チェリヴァ公演では、88,106円の義援金を頂き、日本赤十字社を通じて西日本豪雨の被災地へ届けます。

横田中男子ホッケー部の試合の様子



7月26日から28日にかけて、三成公園ホッケー場で第25回中国中学生ホッケー選手権大会兼第49回全日本中学生ホッケー選手権大会が開催され、16校が出場しました。男女の横田中、男子の仁多中が8月17日から3日間滋賀県で開催される全国大会に出場します。

大会成績

【男子の部】

優勝 横田中(2年ぶり17回目)
準優勝 仁多中
第3位 八頭中(鳥取) 第4位 玖珂中(山口)

【女子の部】

優勝 横田中(4年ぶり12回目)
準優勝 玖珂中(山口)
第3位 八頭中(鳥取) 第4位 磐梨中(岡山)

第25回中国中学生ホッケー選手権大会 兼
第49回全日本中学生ホッケー選手権大会 中国地区予選

第53回島根県中学総体 剣道

奥出雲町民体育館で7月27日に島根県中学総体剣道団体戦、28日に個人戦が行われました。仁多中・女子団体は13年ぶりに優勝を果たしました。個人戦では仁多中・井上響喜くんが第3位に輝きました。井上くんと女子団体は8月7日に山口県である中国大会に出場します。その後、女子団体は8月21日から大阪市で開催される全国大会に出場します。



▲仁多中・女子団体は13年ぶり15回目の優勝

第63回島根県消防操法大会

第63回島根県消防操法大会が7月28日浜田市金城総合運動公園で開催され、奥出雲町からはポンプ車の部に八川分団、小型ポンプの部に三成分団が出場しました。緊張感のある会場で、八川分団は、これまでの訓練の成果を十分に発揮し、ポンプ車の部で第3位に輝きました。また、小型ポンプの部に出場した三成分団も健闘し、第7位となりました。



▲八川分団の操法の様子

第63回島根県消防操法大会成績

【ポンプ車の部】

優勝 出雲市消防団神門分団 181.5点
準優勝 松江市消防団宍道方面団 179点
第3位 奥出雲町消防団 179点

【小型ポンプの部】

※同点の場合は、タイム差
優勝 雲南市消防団大東方面隊 93.5点
準優勝 益田市消防団 93点
第3位 雲南市消防団木次方面隊 92.5点
第7位 奥出雲町消防団 84点

両分団の奮闘とこれまでの訓練に対し、消防団員や家族から暖かい拍手やねぎらいの言葉がかけられました。

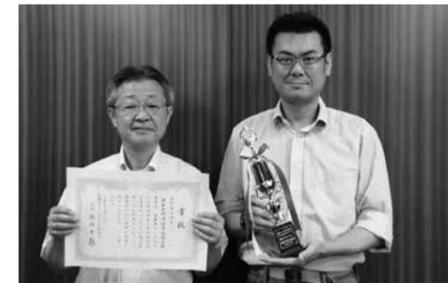
奥出雲町消防団協力事業所表示証交付式

6月26日、役場仁多庁舎にて奥出雲町消防団協力事業所表示証交付式が行われ、有限会社葛川土木に表示証が交付されました。この制度は、奥出雲町長が消防団活動に積極的に協力している企業に対して、消防団協力事業所表示証を交付し、地域の消防防災力の充実強化等を図ることを目的としています。葛川専務取締役は「地域の皆様の安心安全のために尽力して参ります。」と述べられました。



▲勝田町長と葛川泰雄専務取締役(左)

奥出雲町情報通信協会 特別イベント「ふるまい向上CMグランプリ」で準グランプリを獲得



▲奥出雲町情報通信協会重村局長(左)と北原さん

島根県が取り組んでいる「しまねのふるまい推進プロジェクト」に協力している島根県ケーブルテレビ協議会が20周年を迎えたのを機に、特別イベント「ふるまい向上CMグランプリ」が行われ、加盟15局から11作品が寄せられました。奥出雲町情報通信協会が三成幼稚園を舞台に、園児が靴を揃えてしまうことをテーマに制作したCMが高く評価され、準グランプリを獲得しました。靴箱へきちんと靴を揃えてしまうことは良いことということ、幼児でもわかるようなナレーションに子ども言葉を使用するなど工夫を凝らし、かつシンプルにまとめた内容です。「いきいき情報局」の中で、放送予定です。

この取組は、「礼儀、作法、挨拶、しぐさ、モラル、ルール、しつけ、道徳、倫理観、生活行動、生活動作、思いやり」などを「ふるまい」と総称して、乳幼児から大人まで、「ふるまい」を定着させていこうというものです。

第52回雲州そろばん珠算競技大会



▲競技中の様子

8月2日、奥出雲町商工会と雲州算盤協同組合の主催するそろばん珠算競技大会が開催されました。町内をはじめ中四国や関西方面から19団体、223人が出場されました。読み上げ算、読み上げ暗算競技では、先生のスピード感ある読み上げに対し、注意深く耳を傾け、フラッシュ暗算競技では、スクリーンに映し出された数字を瞬時にとらえ、答えが正解すると、会場からは大きな拍手が送られました。町からは、読み上げ算競技第3位に千田萌愛さんが輝きました。町外からの出場者の多くは、大会後、そろばんと工芸の館でミニそろばんを作り、自分たちが使うそろばんがどのように作られているかなどの体験をし、奥出雲町を楽しまれた大会となりました。